

## 運転について

自動車は私たちが生活していく中でなくてはならない存在になっています。自動車の安全性は年々向上し、現在では数々の安全装備が充実しています。

しかし自動車の安全性がどんなに向上しても、ドライバーがそれに頼りきりでは安全に運転することはできません。安全を確保するには、ドライバーが中心であることには変わりがないからです。

交通事故は起こしたいと思って起こしている人はいません。しかしながら、悲惨な交通事故は依然として発生し、多くの尊い命が犠牲になっています。

「運転とは何だろうか」「安全運転とはどんな運転なのか」考えたことはありますか。中央研修所での研修は、今までの自らの運転を振り返っていただくいい機会だと思います。是非とも考えていただきたいのです。これからの運転人生にとっていい財産になると思います。

中央研修所の研修は、危険回避などの体験を通して車の特性と限界や運転者の心理などの理解を深め、危険予測の重要性を認識し、その具体的方法の習得を図る内容となっています。

是非とも機会がありましたら中央研修所へお越しください。お待ちしております。



実技教官

有隅 賢吾